

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

地区駅伝継走大会

4日に胆沢陸上競技場発着の周回コースにて行われました。選手全員の力走でたすきをつなぎ、女子は3位、男子は1位でゴールしました。おめでとうございます。

男子は県大会出場権を獲得です。(優秀選手表彰 星 実怜、千葉心人、高橋 陽)



地区新人大会

17日から胆江地区新人大会です。各部とも

2年生が中心となって取り組んできました。緊張感のある中ですが、培ってきたことを発揮してほしいと思います。同時に時間延長取組に関わり示してくれた、すべての部に共通の約束と部ごとの目標を思い出し、成果を出し切る時間にしてほしいと願っています。

今回も中総体同様に各競技とも感染症対策に基づいた上での開催となります。入場人数や場所、応援の仕方についての制限もあります。各部からのお知らせを確認いただき、大会運営へのご協力をお願いいたします。

コミュニティスクール

来年度の開設をめざしている、学校運営協議会(コミュニティスクール)の準備会として、コミュニティスクール推進協議会を14日に開催しました。委員には、本校の学校評議員と、胆沢地域の各振興会から推薦いただいた方、地域コーディネーター(学校支援地域本部事業)に協力していただいています。この後の会議では胆沢中学校としての学校運営協議会のあり方について検討していきます。

入賞おめでとうございます

28日に一関水泳プールで、中学校学年別水泳大会が開催されました。悪天候の中、練習の成果を発揮し各種目で入賞を果たしました。

3年男子50mバタフライ 3位 阿部啓人

3年女子100mバタフライ 1位 村上倭乃

3年女子50m自由形 3位 村上倭乃

総合の時間(各学年取組)

3年生は6日～8日にかけて東京方面の修学旅行を実施し、12日には解団式を行い、まとめの学習を進めています。

2年生は12日に講師を招いての国際リニアコライダー（ILC）の講演会を開催し、科学技術の理解を深めました。

1年生は12日に郷土学習としてバスで角塚古墳、徳水園、二の台堰、小山飛行場跡などを見学し、地域理解を深める学習を進めています。13日には孫世代のための認知症講座を開催しました。胆沢中としては初めての取組で、講師を招き、認知症の理解を深める機会となりました。

進路を考える その9

今回は、中学校の学習で将来の生き方や進路（進学や就職）に関して、どんなことを学習し

たか、についての質問です。

調査12 生き方や進路に関して学習した内容

<上位>

・卒業後の進路選択の考え方や方法	84.9%
・学ぶことや働くことの意義	80.3%
・高校など上級学校の内容や特色	79.9%
・社会人としての常識やマナー	79.8%
・自分の個性や適性	77.8%
・産業や職業の種類や内容	72.2%

<下位>

・離職、失業など諸リスクへの対応	39.4%
・転職、再就職希望への支援のしくみ	39.5%

経年で見ると、「学ぶことや働くことの意義」や「産業や職業の種類や内容」が増えています。直接的に必要な知識的な内容と共に、考え方や意義などの生き方に関する根本的な事柄も学んだこととなっています。こうした事柄は中学校だけで身につくものではなく、小学校からの積み重ねや各家庭での生活経験の中から学ぶことが大きいと思います。

中学校でもキャリア教育という視点で発達段階に応じて、総合生活力（知・徳・体の各能力）と人生設計力（人生計画立案と主体的に進路を選択し決定できる力）の総合的な力の育成をめざしています。

県教委の示す総合的な力のイメージ

